

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。夏本番です。暑い日が続きませんが、くれぐれもご自愛ください。

もうすぐロンドンオリンピックが始まります。期間は七月二十七日から八月十二日まで。夏季オリンピックとしては第三十回になるそうです。

体操の内村航平選手、ウェイトリフティングの八木かなえ選手、もちろん水泳の北島康介選手など、多くの若者が日本の代表として頑張ってくれます。ファンとして、国民として、頼もしく、嬉しいことです。

経済の世界は年中、毎日、オリンピックを行っています。いろいろなものですが、それぞれの国が国民の豊かさを求め、経済政策や通商交渉を行います。もっとも、どのような社会を目指すのかという「目標」は国のよって区々ですから、豊かさの定義にはいろいろ

な見方があります。

人口増加、経済成長を前提とした二十世紀後半の日本。GDP(国内総生産)という豊かさを基準に考えてきました。一九六四年に西ドイツ(当時)を抜いて世界二位となったものの、二〇一〇年には中国に抜かれて三位に後退。中国の人口は日本の十倍。総額で抜かれることは時間の問題でした。

先月、国連が「包括的な富」に関する報告書を発表しました。この報告書による「富」とは、①物的資本(機械、建物、インフラ等)、②人的資本(人口、教育と技能のレベル)、③自然資本(土地、森、化石燃料、鉱物等)の合計です。

それによれば、トップは米国の百十八兆ドル。二位は日本の五十五兆ドル。三位は中国の二十兆ドル。日本は中国の二・

八倍であり、「一人当たりの富」では米国を上回ってトップでした。

このように、豊かさの評価は定義や考え方によって異なります。人口減少、安定成長に向き合わざるをえない二十一世紀前半の日本。柔軟に考えることが必要です。

しかし、「一人当たりの富」で日本をトップに押し上げている教育レベルや豊かな自然も、安泰ではありません。それを維持し、高めていくための努力をしなければ、やがてこの定義でも日本の順位は後退します。

内村選手、八木選手、北島選手を見習い、政策づくりの努力を怠らず、しかもそれをシッカリと実行していかなくてはなりません。頑張ります!!

※



かわら版執筆者 大塚耕平

日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。

2001年から参議院議員。元内閣府副大臣、前厚生労働副大臣。地元覚王山に事務所を開き、地域の歴史・文化遺産の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で、足かけ11年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

本日

7月21日(土) 11時 「山田石材店」

参加無料

法話会

「覚王山・日泰寺界隈の史跡・名刹」

講師：大塚耕平氏

弘法さんかわら版著者(参議院議員)

覚王山カルチャー教室

法話会のお問い合わせは
☎ 052(751)4675

山田石材合資会社

お問い合わせ:052(757)1955 大塚耕平事務所(黒田/佐久間)



○ロンドン五輪、もうすぐ開幕

同じコウヘイの内村選手に負けないように、政策づくりの努力を怠らず、しっかり実行できるよう頑張ります!

体操
内村航平選手

じじっ

耕